

# 松山櫨便り

## 第16号

購読  
無料

1日・15日発行・櫨に関する情報求ム!  
福岡県久留米市田主丸町で活動中!  
編集・発行 松山櫨復活委員会  
幹事・矢野真由美

耳納山の片隅で失われてしまった櫨紅葉の景観を復活させることを目的に、櫨の素人がまったりとその様子を伝えていく会報です。

ブログ公開中「松山櫨復活奮闘日記」 <http://blog.goo.ne.jp/elster/>  
連絡先 e-mail : [elster@mail.goo.ne.jp](mailto:elster@mail.goo.ne.jp) ホームページ「松山櫨復活委員会」 近日公開予定



いよいよ松山櫨の接ぎ木です。接ぎ木には田主丸型ナイフという、緩やかにカーブした接ぎ木専用のナイフを使います。常に切れ味を鋭くしておくために、接ぎ木職人は、一日に何回も研いで手入れをするそうです。



② スツと台木の端っこに切れ目を入れ、間髪入れずにピッタリと合わせます。

③ 合わせた後は「メテール」という、接ぎ木専用のテープで固定します。このテープは、しばらくすると自然に分解するので取り除く必要がない超スグレモノです。しかも新芽は、名前の通り、このテープを突き破って伸びていくので接ぎ木した後は世話いらす。昔はビニールテープで巻いていた

## 成功するか? 5本のクローン手術 松山櫨の接ぎ木へ

前号までのあらすじ  
江戸時代に田主丸町森部で発見された櫨の優秀な品種「松山櫨」。一ヶ所だけ残っていた松山櫨を復活させるためには接ぎ木が必要で。活させるためには接ぎ木が必要で。す。台木を手に入れた後、接ぎ穂を採取。そしていよいよ松山櫨の接ぎ木の日が来ました。



め、ある時期になるとナイフでテープを切る作業をしなくてはならなかったそうです。

大崎さんは、次々に慣れた手つきで仕上げます。一本につき、約20秒足らず。5本全部を接ぐのに、2分もかかりませんでした。

松山櫨の接ぎ木作業はあつというまに終わりました。素人がやる時間もかかる上にきちんとして仕上がりにはなりません、さす

がに苗木のプロ。口が悪くて、心が嫌がっても、長い経験が素早い動作をためらわずに行ってくれます。ホレボレする程、見事な接ぎ木の仕上がりです。

「あーあ、こんなん接がるっちやるかね。櫨マケするもん、いっちゃん、す〜かん。」と毒づく大崎さん。

のど元まで褒め言葉が出てきた私ですが、その言葉は胸にしまっておくことにしました。

接ぎ木された5本の松山櫨が、無事に活着して生長できるかどうか、それは誰にもわかりませんが、それは誰にいわせません。確率からいえば、かなり低いと思いますが最初の一步になったと思います。ともかく、私は大満足していました。(続きは次号にて)

### お知らせ 「正徳芯和ろうそく」を 50袋限定販売します。

八女の祭り「あかりとちゃっぼんぼん」  
松山櫨復活委員会が出展!

とき 9月22日(土)~24日(祝)  
ところ 「房屋」邸(八女福島町の町並み)  
問合せ 八女市商工観光課 0943-23-1596

「正徳芯和ろうそく」とは、和ろうそくの芯巻きの本場であった朝倉市の「あさくら正徳芯」を使い、近江手作り和ろうそく「大興」によって「手がけ」された本格的和ろうそくです。現在、芯巻き作業のほとんどが海外へ業務委託されている中、最高品質の和ろうそくを見たいとの思いから、当委員会が特別に依頼・製作しました。価格は三本500円、50袋限定です。

「房屋」邸では「大興」による手作り和ろうそくの実演や櫨の釉薬を使った陶芸「乾太郎窯」の展示販売なども行われます。

※本会報を許可なく複製・転載すること、または部分的にもコピーすることを禁じます。